

講習の名称：個別言語教育の壁を越えて初級外国語教育を考える

担当講師：田中 一嘉（教育学部准教授）

講習開講日：平成 29 年 8 月 21 日(月)

時間数：6 時間

主な受講対象者：小教諭、英語を担当する中・高教諭

キーワード：外国語教育、言語教育、ドイツ語、英語

講習の概要：

義務教育における英語教育と、大学教養教育におけるドイツ語教育とを、それぞれが今日抱える諸問題を踏まえながら、初級外国語教育という観点から一括してとらえ、現代言語学の知見を背景として、個別言語教育の壁を越えた広い視野で、初級外国語教育のあり方を考える。同時に他言語の初級教育の状況を知ることを通じ、義務教育における初級英語教育の相対化を図る。英語担当以外の教諭でも受講可能。

講習の展開：

第 1 時限 大学教養教育におけるドイツ語教育の現状と課題

第 2 時限 初級外国語教育の諸相～ドイツ語と英語を例にとって

第 3 時限 初級言語教育における諸問題の整理とテーマ別グループ討論

第 4 時限 言語の壁を越えた初級外国語教育の可能性 全体討論と総括

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

特にないが、英語教育、外国語教育のみならず、国語(母語)教育も含めた言語教育全般に興味を持っていることが望ましい。

授業の形式：講義および討論形式

履修認定試験：論述形式の筆記試験。講義と討論の内容に基づいて出題する。(配布資料及びノートの参照可)

テキスト・参考文献：

テキストは講習時にハンドアウトを用意する。

参考文献として以下を挙げる：

田中一嘉他 「初習外国語教育の諸問題—L2 としての中学校英語と L3 としての大学教養ドイツ語・フランス語—」 群馬大学教育実践研究 第 24 号 2007

三瓶・成田編 『ドイツ語を考える ことばについて的小論集』 三修社 2008